

# 使い終わったカセットボンベや スプレー缶の出し方

ごみ収集作業中、カセットボンベやスプレー缶が原因とみられる爆発・火災が多発しています！

中身が入ったままのカセットボンベやスプレー缶をそのままゴミとして出されますと、最終処分場での埋め立て作業中や、ごみ収集車（ごみを圧縮して積み込む）への積み込み作業中に、爆発・炎上する事故が発生することがあります。人命に関わる重大事故につながる恐れがあるため、これらを排出する際は次の事を厳守してください。

○必ず最後まで使い切り、缶に穴を開けて出してください。  
○カセットボンベ・スプレー缶を、リサイクル（資源）ごみの日に他のごみと一緒に出してください。

## ご家庭で安全に穴を開ける方法

○必ず中身がカラである事を確認してください。噴射口からシューという音がしなくなるまで出し切ってしましましょう。カセットボンベの場合、先端部分を下にし、石やコンクリート等の固いところにおしつけると、中身をカラにする事ができます。

○作業は風通しのよい屋外で行うようにしてください。

○穴を開ける部分は顔から遠ざけるとともに、開ける方向に人がいない事を確認してください。

○穴を開ける際は、火花が散るような強い衝撃を与えないようにしましょう。ご家庭にある缶切り等を利用するとよいでしょう。また、大手スーパーやホームセンター等で穴を開けるグッズも多く販売されています。これらを利用するとより安全に作業ができます。

## お問い合わせ先

町民環境課 河中 電話 (08668) 54-2684

混ぜればごみ、分ければ資源!!  
すてればごみ、使えば資源!!  
ごみを作らない、ださない。

ごみの減量化とリサイクル、  
資源化にご協力をお願いします。

毎月10日はノーレジ袋デー（マイバッグ持参推進日）!!  
マイバッグは持ち歩いて、いつでも使えるように!!  
マイバッグはレジを通してから使いましょう!!

レジ袋の削減はごみを減らす  
ための取り組みのひとつです。

## 消費者情報 ③

### 電動車いす（ハンドル形）使用事故にご注意

高齢者等の戸外における移動手段として利用が増えてきている電動車いす（ハンドル形）で死亡事故も含めた重大事故が多く起きています。被害者の約8割が70歳以上の方です。

事故例としては、側溝や水路に落ちる事故、土手下や川・水田に落ちる事故、砂利道走行時や電動車いすから降りる際に転倒する事故、ブレーキとアクセルを間違えて歩行者にケガを負わせる事故、急な下り坂の上の落ち葉でスリップしたり、後進で降りていて土手にぶつかったりして転倒する事故、急ハンドルを切って転倒する事故、電動車いすに乗って犬の散歩をしていて転倒したという非常識な事故など、多様です。

事故に遭わないためにも、電動車いす（ハンドル形）の使用にあたっては次の点にご注意下さい。

#### ①講習会について

・運転に慣れるため、メーカーや販売店が行う講習会に参加する。

・新しい製品に乗り換える、買い替える際にも必ず個別に乗り方の指導を受ける。

#### ②点検について

・取扱説明書に従って運転前には日常点検をする。

・バッテリーの残量を点検する。

#### ③運転時について

・道路端には寄り過ぎない。

・砂利道、滑りやすい場所、狭い道、急坂の道では乗らない。

・クラッチを切って道路を下らない。

## お問い合わせ先

町民環境課 本山 電話 (08668) 54-2684

毎月10日はノーレジ袋デー（マイバッグ持参推進日）!!  
マイバッグは持ち歩いて、いつでも使えるように!!  
マイバッグはレジを通してから使いましょう!!

レジ袋の削減はごみを減らす  
ための取り組みのひとつです。